

第73号

令和7年1月1日発行

箱崎新聞

箱崎町箱四町会HP
箱崎睦会HP
高尾稲荷神社HP

<http://www.hakozaki4.cher-ish.net/>
<http://hakozakimutsumi.kashiore.jp/>
<https://takaoinari.tokyo/>

発行者:

箱崎環境対策協議会
箱崎新聞編集部
中央区日本橋箱崎町34-8
Tel 03-5962-3137

協賛:

日本橋法人会箱崎支部

謹賀新年 「伸びろ箱崎！ 街と企業」

新年あけましておめでとうございます
すこやかに、新しい年をお迎えのことと
お慶び申し上げます

箱四町会は、江戸時代に徳川田安家別邸だった屋敷を明治維新後、土佐の山内容堂が、隠居屋敷として買取り、豪遊をしていたと言われる土地です。その後、隅田川と箱崎川に囲まれ、水運に恵まれた三角州の川沿いには財閥系の大きな倉庫が建てられました。また中央部は、昔ながらの木造の住宅が軒を並べました。昭和40年以降、倉庫は高層の事務所ビルや、集合住宅となり、今でもわずかに残る木造長屋住宅も次第にマンションに移り変わっていきました。箱崎川が埋め立てられてT-CATができ、首都高速9号線と隅田川大橋が2階建て構造で架橋され、水天宮前の駅ができ、箱崎は大きく変わってきました。こういった中で、先輩の町会役員たちは、企業や行政側にいろいろな要望を提示し、箱崎の街を良くしてまいりました。湊橋（ハナミズキ）通りの街路整備、隅田川大橋横のスーパー堤防の延長、26番地の神輿展示館、豊海橋公衆トイレ、箱崎公園の中央の広場などがそれにあたります。

これからも、私たちは「街も企業も伸びる箱崎」をスローガンに努力されてきた先輩たちの意思を引き継ぎ、安心安全で暮らしやすい、働きやすい街を築いていきたいと思います。

また、ここ30年、住民人口も2倍程度になりました。コロナウイルス対策で在宅ワークにより、減っていた日中の人口も、新しい企業が空いたフロアに入居することで、今後増加していくと思われます。実際、行事の多くに、心ある若手、中堅や新規企業の参加が増えてきており、心強いです。

今年も、新しい住民や企業ともしっかりとコミュニケーションを取り、より良い街づくりのために努力をしてまいります。

皆様にとって今年一年がさらに素晴らしい年となる事を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

箱崎町箱四町会 会長 村松眞之

新年明けましておめでとうございます

皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのことと
お慶び申し上げます

今年の富岡八幡宮のお祭りは8月17日（日）に御本社二の宮神輿渡御と決まっております。3年前の二の宮渡御は新型コロナウイルス第7波拡大により渡御直前の7月末に担いでの渡御を取り止め、トラックに二の宮神輿を乗せての御車渡御となり二の宮を担いで渡御出来るのは7年ぶりとなります。私が総代になり初めてのお祭りが7年前の二の宮渡御でした。緊張のなか二の宮渡御全行程を歩いたのを思い出します。

昨年11月の箱崎三町会正副町会長会議にて箱崎二・三丁目町会の鈴木和重君が神輿総代に承認され、今年から箱崎各町会3名態勢の神輿総代となります。7年ぶりの担いでの二の宮渡御、箱崎三町会の皆様に楽しく担いで頂けるよう箱崎総代一同、力を尽くしますのでご協力をお願い致します。

本年が皆様にとって素晴らしい一年になりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

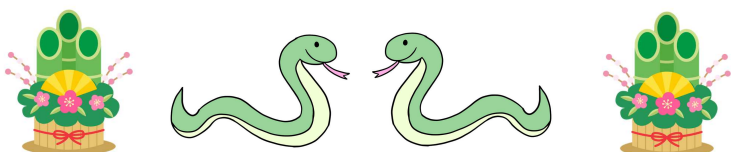
箱崎北新堀町会 神輿総代 渡邊健一

箱崎三町会の
神輿総代

後列の右から
二番目が渡邊
総代



箱崎北新堀町会 岩田会長
箱崎二・三丁目町会 宮田会長
箱崎町箱四町会 村松会長



有馬小学校防災拠点 運営委員会訓練

昨年元日に発生した能登半島地震を受け、2024年の有馬小学校防災拠点運営委員会訓練は、例年よりも実践的なものになりました。今回の訓練では、2部制として、前半に運営委員のみによる避難所開設・運営訓練を、後半に一般参加者も入った巡回訓練を実施しました。前半の避難所開設・運営訓練は、避難所開設訓練と運営委員会の各班に分かれ班に割り当てられた役割を遂行する避難所開設・運営訓練で構成されています。

それでは、ここで実際にどのような訓練を行ったのか紹介していきます。

【1】避難所開設訓練

大地震発生後、運営委員が小学校に集まり、防災拠点を開設するために最初にしなければならないのは、「小学校を開けること」です。小学校の正面玄関の鍵は一部の運営委員にも配られていますので、鍵を持った委員が玄関を開けます（実際には既に開いていますので、訓練では鍵を開ける手順の確認です）。

次に主事室から運動場側の通用門の鍵を取り出し、通用門を開けます（実際には既に開いていますので、訓練では鍵を開ける手順の確認です）。運営委員は鍵の場所をここでしっかりと覚えておかねばなりません。

続いて拠点本部の設置です。小学校2階の会議室に委員が集まり、避難所運営・活動要員班、負傷者・要介護者支援班、渉外・交渉班、食料・物資班の各班に分かれて着席のうえ、点呼を取ります。ここで避難所運営・活動要員班は各班のビブスを倉庫から取り出し、実際に配布します。もちろん、倉庫の鍵を主事室から取り出すのも訓練のうちです。

各班で集まった委員を特定し、出席簿に印をつけたら、避難所開設訓練の第一段階は終了です。



【2】避難所開設・運営訓練
第二段階は、班ごとに分かれて、それぞれの役割に沿った訓練を行います。

①避難所運営・活動要員班

校内の施設の安全確認と体育館での避難所設営訓練を行いました。避難所運営・活動要員班は、小学校の地下1階から4階まで、倉庫、保健室、給食・調理室、会議室、音楽室、普通教室、プール等24か所を安全点検チェックリストを用いてA～Cの3段階で安全性をチェックしなければなりません。Aは「安全性に問題はなくすぐに使用可能」、Bは「散乱物はあるものの構造的な問題はなく片付ければ使用可能」、Cは「亀裂、ゆがみ、壁の落下などの被害が甚大なので使用不可」です。

今回の訓練では、音楽室、給食・調理室、音楽室の3か所をサンプルとしてチェックし、それぞれの被害状況の設定に応じた評価をチェックリストへ記入して行きました。

次に避難所開設訓練として、更に3グループに分かれ、体育館横の倉庫から簡易テントや毛布、エアマット等の資材を体育館に運び込み、テント設営にエアマットの準備、段ボールベッドの組み立てを3グループごとに行いました。段ボールベッドの組み立てはパーツの位置関係を把握するのに手間取りましたが、組み立てて実際に寝てみると、意外なほど丈夫なことに驚きました。また、設営完了後にはこれらの資材を片付けるところまで実際に行いました。



巡回訓練の様子です
災害を体験



渉外・交渉班の活動の様子



②渉外・交渉班

渉外・交渉班の役目は、中央区役所の防災対策本部との連絡と、校内の避難者への情報提供です。

職員室に設置された地域防災無線を使い、防災対策本部へ避難者の人数や被害状況について連絡を入れる訓練を行いました。無線と言っても家庭用ファックスの様な装置で、簡単な操作で連絡を取ることが出来ます。

また、構内に避難してきた避難者へは、校内放送の設備や掲示板（ホワイトボード）を使って区内の被害状況やライフラインの情報を逐次提供していきます。

地域防災無線や校内放送の設備については、普段は私たちは操作することが出来ません。防災訓練で事前に体験しておけば、本番は慌てずに操作を行えると思います。

この他、負傷者・要介護者支援班、食料・物資班の活動もありました。

【3】巡回訓練

後半は有馬小学校校庭を利用した訓練です。

車椅子乗車体験、起震車体験（震度7までの揺れを体験）、白バイ乗車体験など、災害の発生を実際に体験できるコーナーが設けられていました。

有馬小学校防災拠点の訓練は、蛸殻町や浜町など周辺の各町会が合同で行いました。今年3月には箱崎三町会主催の防災訓練が行われる予定です。日頃から防災への意識を高めるためにも、ぜひご参加ください。

箱崎北新堀町会 岡本 理
箱崎町箱四町会 会田 潔

第12回箱崎チャリティーフリーマーケット開催

フリーマーケットの醍醐味はなんといっても、お値打ちの品物が安く買えることですよね。もともと不要な衣類は、インターネットのフリマサイトに出品する方も多いと思いますが、冬服は、かさばるわりにあまり高値で売れないことがしばしばあります。送料がかなりかかってしまった経験もあることでしょう。

それにインターネットのフリマサイトは、売れるまで手元に置いておかなければならず、それに嫌気がさすことも、、、フリーマーケットは、インターネットのフリマサイトよりも低い金額であったとしても一気に不用品が手放せるチャンスがあります。

親子で出店されている方も多く、自分で小さなお店をやっている、みたいなおままと感や、自分で値段を決めて、実際に物が売れる楽しさを学べる機会でもあります。売れた、売れない、関係なく、フリーマーケットは、『地域交流もできるので楽しい』との感想も多数いただいております。そして、フリーマーケットのいいところは、Reuse（リユース）で、わたしの不用品が、だれかの良い買い物になるところや、閉店間際になると、割引や半額セール、オマケ付販売をするお店が増えますので、閉店間際の買い物がお得なことがあります。



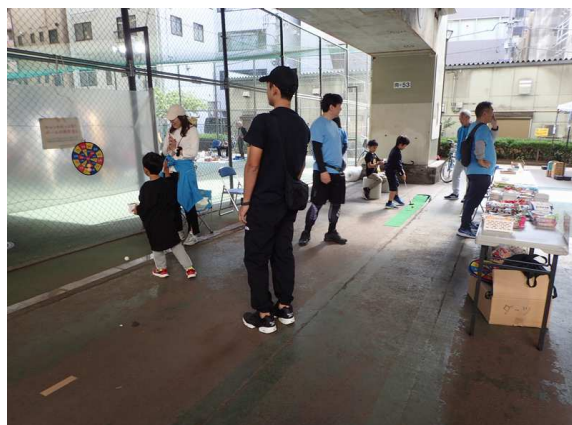
フリーマーケットの様子



ゲームコーナーも併設されました



スーパーボールすくい
パターゴルフ



ダーツゲーム



箱崎チャリティーフリーマーケットは、今回で12回目を迎え、今まで多くの募金を集めることができています。また、中央区から後援をいただき、フリーマーケットを通じて、まだ使えるものがゴミとならずに必要な人へ譲られていく環境負荷を減らす好循環を作り出すこと以外に、災害で困っている方を支援している本活動に、大変深い理解をいただいております。

今回は、2024年の元日に発生した能登半島地震災害義援金として日本赤十字社を通じ、石川県、富山県、福井県、新潟県へ2024年11月22日に送金いたしました。これまでも箱崎チャリティーフリーマーケットでは、福島県や熊本県をはじめ、国内の災害復興支援を継続してきました。

今回の箱崎チャリティーフリーマーケットの送金額は、53,196円でしたことを報告いたします。これもひとえに皆様のおかげでございます。ありがとうございました。今年度の箱崎チャリティーフリーマーケットもどうぞよろしくお願い申し上げます。

箱崎睦会 鈴木和重

改めて募金額を報告いたします。

- ・募金箱 3,829円
 - ・出店者／キッチンカー／ゲーム／飲料コーナーの売上金など
- 50,087円
合計53,916円

能登半島地震災害義援金として日本赤十字社へ寄付いたしました。ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

箱崎睦会



小腹が空いたらキッチンカーをどうぞ
作りたてのカレー、たこ焼き
焼きそばも美味しいですよ

2024 Autumn
フリーマーケット 10月27日(日) 10:00 ~ 14:30

楽しい掘り出し物が
もりだくさん！
ご家族そろってのご来場を
お待ちしております

子供用品から
日用品まで
幅広く出店！

入場無料！

子供向けのゲームコーナー
もあります

キッチンカーも来ます！

箱崎川第二公園

主催：箱崎睦会 問合せ先: h.mutsumi.event@gmail.com

チャリティーフリーマーケット告知ポスター

第51回子供餅つき大会

年末の恒例行事となっている日本橋三の部連合町会が主宰する「第51回子ども餅つき大会」が12/8(日)に人形町大通りで開催されました。日本橋三の部連合町会に所属する日本橋箱崎町、日本橋人形町、日本橋蛸殻町、日本橋小網町の全15町会が一堂に会し、人形町大通りの半分を利用して開催されました。

この餅つき大会は新興住民の方、子供連れの方、町内会に余り関わっていない方にも参加のハードルが低い行事となっています。当日は事前の天気予報に反し、穏やかな晴天に恵まれたこともあり、たいへん多くの方に訪れて頂きいたるところから威勢のいい掛け声とともに大いに盛り上がり地域の親交が深まったのではないのでしょうか。

今回も各町会でたくさんの町会員の参加により執り行われた行事ですが、より多くの方に参加して頂きたいので「サードプレイス」という概念についてご紹介したいと思います。地域コミュニティ（町内会等）に当てはまる項目が多いのでご参考に。

これは1980年代に米国の社会学者であるレイ・オルデンバーグ氏が著書『ザ・グレート・グッド・プレイス』で提唱されたものです。家庭（ファーストプレイス）、職場（セカンドプレイス）に続く第3の居場所（サードプレイス）持つことは、単なる気晴らし以上にたくさんの効果があると言われています。（興味のある方は是非検索してみてください）

【サードプレイスの特徴の抜粋】
○サードプレイスでは参加するために、何も必要条件や要求がない。
○柔軟で親切で、集まる人のニーズにこたえるところ。
○新たな訪問者を惹きつけて、新参者にも優しいところ。
○家庭的な感じ。偉ぶったり、排他的であってはいけない。いかなる個人、あらゆる階層の人を受け入れる。

まさに餅つき大会が「サードプレイス」を実践している方が集まり盛大に執り行われたので紹介させて頂きましたが、箱崎町内会や箱崎睦会の面々との関係性が当てはまるのではないのでしょうか。

それでは最後にお休みの日に朝からご協力ご参加頂いた皆様、また事前準備をして頂いた各担当者の皆様ありがとうございました。また来年の餅つき大会もどうぞよろしくお願いします。

日本橋三の部地区委員 木村明寿



箱二・三町会



箱北町会



各町会の皆さんと、
自慢の賄いうどん・そば



箱四町会



日本橋三の部地区委員
～箱崎メンバー～



お餅パックは
きなことあんこ



箱四町会バスハイク 初参加の旅日記

「こんにちは～、浅子です！」の電話一声から始まった我が家初参加のバスハイク。11月17日、ついにやってきたバスハイク当日。家族5人（子ども3人）で早朝からバタバタし、7時50分ギリギリセーフの集合場所到着。バスに乗り込むと、そこはまるで“動くカフェ”。浅子さんの配慮で、子どもの年齢に合わせた席配置がされており、4歳の息子は早速前の席のお友だちと遊び始めました。

行き先は「TOBU WORLD SQUARE」。世界中の有名な建物が25分の1サイズでズラリと並ぶその光景は、まさに「ちょっとした世界旅行」。子どもたちはミニチュアの街を駆け回り、私たち親は「次の家族旅行はベルサイユ宮殿ね」と、壮大すぎる計画を立ててしまいました（いや、こんな円安で行けるのか？）。ちなみに、小さな住人の人形が14万体制もいるらしく、「おかあさん、あの人形、動いた？」と子どもたちが半信半疑。たぶん動いてません。100円コイン入れて動き出すところも大いに楽しみました。

お昼はご当地の老舗で豪華なランチと歓談を楽しみ、お土産も買え、次なる目的地「若竹の杜（若山農場）」へ。竹林といえば京都が有名ですが、「いやいや、ここも負けてない！」と内心びっくり。どこを撮っても映える絶景で、スマホの写真フォルダが竹だらけになりました。竹林中に大きな自然木で作られたブランコもあり、子どもも大人も大きなスイングで自然の中でのスリル感を楽しめました。夕暮れ後にライトアップの時間もあるそうなので、次回は“竹ライト”目当てで再訪決定です。



バスハイク参加の皆さん／東武ワールドスクウェア

区議便り

隅田川テラスのスロープ整備

今回は中央区議会環境建設委員会の報告事項からご報告します。東京都は隅田川テラスで防災船着き場へ物資輸送などの緊急車両がアクセスするための動線確保や回遊性向上を目的に、スロープ整備を進めています。

（詳細は下記の地図をご参照ください）

本年度（令和6年度）は新たに、2か所の防災船着場で、スロープ整備が予定されていて、整備・準備が進んでいます。

隅田川テラスや近隣公園の魅力向上、防災力の強化、隅田川大橋のバリアフリー化の推進などハード面での地域の価値向上に取り組めるよう活動を継続していきたいと考えております。お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。

中央区議会議員 かみや俊宏

連絡先 TEL/FAX:03-3666-6651 Mail:info@kamiya-toshihiro.com

(1) - ① 箱崎町防災船着場（上流側、下流側）
工 事 期 間：令和6年12月（予定）から令和7年11月（予定）
通行止め期間：工事期間中
通行止め箇所：上流側既設スロープ（隅田川テラス通行可）
：下流側箱崎河岸緑道の一部（隅田川テラス通行可）



バスハイクの帰り道では、お楽しみ会が待っていました。座席番号の抽選会では、なかなか我が家は当たりません……。が！ ついに末っ子が大当たり。これだけでもテンションMAXだったのに、「ママの番号も当てて！」と頼んだら、まさかの“親子連続当選”が実現。会場は大爆笑と拍手の渦に。浅子さん、さすが“神シナリオ”を用意してくれましたね。

チンバットさんファミリー（プラスα）



今回のバスハイクを支えてくださった松村会長をはじめ、町会の皆さんには心から感謝です。「親元を離れて暮らす異国の地で、こんな温かい人々と過ごせるなんて……」としみじみ感じました。

ところで、実は我が家はモンゴル出身です！ モンゴルは日本の約4倍の面積を誇り、空気が美味しく、夜は満点の星が広がる国。昔は遊牧民が主流でしたが、今は都市化が進み、人口もわずか340万人です。しかも、新日感が強い国なんです！ 日本企業も続々と進出しています。ぜひ皆さんにも一度訪れてほしいです。

最後に、こんな提案を。「次回の箱四町会バスハイク、いっそモンゴルでやりませんか？」参加者全員で大草原を駆け巡り、ゲル（モンゴルの伝統的な住居）でおしゃべり、星空の下で語り合う……これぞ非日常体験。費用と日程の調整が激ムズかもしれませんが、ちょっと夢が広がいませんか？ それでは、また次回のバスハイクでお会いしましょう！

箱四町会 Chinbat Dejeekhu
／チンバット デジェーフー

箱崎の会社紹介 株式会社トップス

2022年3月より日本橋箱崎町へ居を移した株式会社トップスと申します。2021年に箱崎町に竣工した現在のビルに縁あって入居致しました。せっかくの機会を頂戴いたしましたので当社の紹介をさせていただきます。

株式会社トップスは2002年に設立された雑貨、玩具の専門商社です。様々な玩具メーカー、広告代理店、大手小売店より製造委託を受け中国をメイン生産の場として多くの商品に携わって参りました。

皆様やお子様、お孫様が店頭で見かける商品の中にも当社が裏で関わっているものがあるはず。3ヵ月毎にブームが移り変わる業界ということもありミーハーな社員が多いのですが代表もその一人で、またお祭りも好きな人柄です。そこでぜひ町内会にも加入したいとなり一員として迎えて頂いた経緯がございます。

以来、お声がけいただいた地域活動に度々参加をさせて頂いております。私自身もまだまだ慣れていない所も多くあるのですが地道に社内での啓蒙活動を行っておるところで、関心を持ってくれる社員が少しずつ増えているところです。

今後も活動の幅や人数を広げながら様々な催しを通じて交流をさせていただき、また皆様に町内の一員として認めていただけるよう尽力していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

株式会社トップス 総務部
課長代理 衣笠正人
<https://www.tops-jp.com/>

火の用心

町会では、毎年師走に夜回りを行っていることを皆様ご存じでしょうか。

昔ながらの拍子木の音とあわせて「戸締り用心！火の用心！」の呼びかけを耳にされているかもしれません。火の元となりかねない、屋外に放置された物品などを確認しながら町内を見回る、防火とあわせ防犯の一助ともなる活動です。夜回りに出ると、人目につきにくい暗い路地やゴミの放置など、昼間には気づきにくい危うさを感じる場が実際に色々あります。

十二月から翌年三月までは火災が多発します。住宅火災の出火原因として多いのが、たばこ・ストーブ・コンロ・コード等とのこと。また、ストーブのなかで特に多いのが意外にも電気ストーブだそうです。灯油を使用しないから安全かと思いきや、周辺の布団や衣類、カーテン、新聞紙といった可燃物に接触しての出火に結びついています。便利な暖房器具が増えてきましたが使い方に要注意ですね。

安全に気をつけながら快適な冬をお過ごしくださいますよう。

箱崎新聞編集部 伊藤亜紀



〜〜12月25日は〜〜

クリスマス
箱崎公園のイルミネーション



二代目高尾太夫の命日
高尾稲荷神社に供花



編集後記

あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願い申し上げます

◇

昨年は猛暑、酷暑と言われた夏から急に寒くなり、本格的な冬を迎えました。空気が乾燥し風邪やインフルエンザ、新型コロナウイルスの流行が気になるところです。皆さまもどうぞ健康に留意してお過ごしください。

◇

巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年なのだそうです。蛇が皮を脱ぎ捨てて新たな姿に生まれ変わりながら成長していくからだそうです。夏祭り、フリーマーケット、隅田川河畔ビール祭りなど、果たしてどんな変化が待っているのでしょうか？

◇

さて、冬と夏の年二回発行としてきた箱崎新聞ですが、今後は冬号の年一回発行とさせていただくことになりました。これは、編集スタッフの負担増加、印刷費用の高騰、毎号の記事の画一化が理由です。楽しみにされている方には申し訳ありませんが、これも変化の一つと捉えていただければと思います。どうぞご理解をお願いします。次号の発行は来年一月を予定しています。

2025年前半の予定（詳細は追って回覧、掲示物でお知らせします）

- 1月16日（木）箱崎三町会合同新年会（TCAT龍鳳）
- 3月 2日（日）子供スケート教室（日本橋三の部地区委員会）
- 3月16日（日）箱崎三町会合防災訓練
- 4月20日（日）チャリティフリーマーケット（箱崎睦会）
- 4月20日（日）手作り鯉のぼり（イベント部）
- 5月中旬 わんぱく相撲・中央区大会（日本橋三の部地区委員会）
- 5月下旬 中央区クリーンデー（中央区）
- 7月下旬 隅田川河畔ビール祭り
- 7月下旬～8月中旬 夏休みラジオ体操会（有馬ラジオ体操会）
- 8月中旬 箱崎夏祭り（箱崎三町会、神輿総代、箱崎睦会）
二の宮神輿渡御、子供神輿町内渡御、宵の縁日、盆踊り
- 8月22日（金）～23日（土） 中央区大江戸祭り盆踊り大会（中央区）